

第【3】学年 教科【社会】

1 学習目標

- (1) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを時期や時代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、それらをもとに議論したりする力を養う。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

2 使用教科書・教材

- (1)教科書「中学社会 歴史 未来をひらく」(教育出版)
- (2)教科書「中学社会 公民 ともに生きる」(教育出版)
- (3)副教材「社会の自主学习 歴史」(新学社)「公民の自主学习 公民」(新学社)
「3年間の総整理」(正進社)「もぎトレ5」(正進社)

3 学習内容および学習時期の目安

	単元名	学習内容（教科書項目名）
1学期（4～7月）	<ul style="list-style-type: none">・日本の近代化と国際社会・私たちの暮らしと経済・個人の尊重と日本国憲法	<ul style="list-style-type: none">・開国と幕府政治の終わり・明治維新と立憲国家・東アジアと日清・日露戦争、近代の産業と文化・消費生活と市場経済、生産と労働・人権と日本国憲法、人権と共生社会
2学期（8～12月）	<ul style="list-style-type: none">・二度の世界大戦と日本・現代の民主政治と社会・現代の日本と世界・私たちの暮らしと経済	<ul style="list-style-type: none">・戦後の日本と冷戦、日本の経済成長・現代の民主政治、国の政治の仕組み、地方自治・日本の民主化と冷戦、世界の多極化と日本・市場経済の仕組み、財政
3学期（1～3月）	<ul style="list-style-type: none">・現代の日本と世界・地球社会と私たち	<ul style="list-style-type: none">・国際社会の仕組み

4 評価規準およびその方法

	評価規準	評価項目・方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> • 近代の日本の大きな流れを，世界の歴史を背景に，時代の特色をふまえて理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につけている。 • 現代の日本の大きな流れを，世界の歴史を背景に，時代の特色をふまえて理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につけている。 • 人間の尊重についての考え方を，基本的人権を中心に深め，法の意義を理解している。 • 民主的な社会生活を営むためには，法に基づく政治が大切であることを理解している。 • 日本国憲法が基本的人権の尊重，国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 • 日本の政治のしくみのあらましや選挙の意義としくみ，政党の役割を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> • 定期考査 • 単元テスト • ワーク
	<ul style="list-style-type: none"> • 議会制民主主義の意義，多数決の原理とその運用のあり方について理解している。 • 身近な消費生活を中心に経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方，現代の生産や金融などのしくみや働き，勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。 • 財政及び租税の意義，国民の納税の義務について理解するとともに，社会資本の整備，公害の防止など環境の保全，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，消費者の保護について，それらの意義を理解している。 • 領土と国家主権，国際連合の働きなど基本的な事項を基に，世界平和の実現と人類の福祉の増大のために，国際協調の観点から，国家間の相互の主権の尊重と協力及び国際機構などの役割が大切であることを理解している。 	

<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近世の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・近代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・産業の発展が国民の生活や文化にあたえた影響に着目して、事象を相互に関連づけるなどして、日本で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ・敗戦前後の社会の変化や冷戦体制下の日本と世界との関わりに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察・構想し、表現している。 ・社会的な見方・考え方を働かせ、私たちが持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題について多面的・多角的に考察・構想し、自分の考えを説明、論述している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・単元テスト ・ワーク ・発表、議論の取り組み
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料から時代の移り変わりを読み取る活動を通して、近世の日本と世界について見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・近代の日本の学習をふり返りながら自身の学びを確認、調整しようとするとともに、近代（前半）の時代の特色は何かを主体的に追究しようとしている。 ・資料から戦争中や敗戦直後、現在のようなすを比較することを通して、現代の日本について見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・個人の尊重と日本国憲法について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 ・私たちの生活と経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 ・私たちが持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークの記述内容 ・授業中の様子・問題集の取り組み内容 ・発表、議論の取り組み